

管内における雇用環境や人材確保
の状況等について
(各団体)

令和4年6月2日
鹿児島島地域人財確保・育成推進協議会

委員意見

日置地区小中学校長会 会長（町田 実徳）

現状	意見，課題等
特になし	現存する企業等への就職支援に加え，起業を希望する学生等へのサポートもあっても良いのではないのでしょうか。

鹿児島情報高等学校 校長（新納 武彦）

現状	意見，課題等
<p>学校全体で地域貢献を目標に学びを展開している。SNSを使った鹿児島の情報発信は内閣府主催の地域創生SDGsの優良事例として評価された。</p> <p>また、谷山の商店街を盛り上げるプロジェクト、ものづくりを通して地域の交通安全電光掲示板の作成などをおこなっている。学びの目的は「鹿児島を知る」「地域を知る」ことで、鹿児島への人材定着を目標としている。この学びを通して、鹿児島での就職や鹿児島の事を考えて活動する生徒が増えてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある（子育てしやすい）生活環境の構築 ・賃金格差の解消 ・企業誘致 ・県内企業のアピール強化 ・県内企業と教育機関との連携強化（幅広い意見交換会） ・高校生と企業とのマッチング機会の検討と強化（離職率を下げる） ・就職や採用に繋がるインターンシップ制度

鹿児島医療技術専門学校 副校長（濱川 孝二）

現状	意見，課題等
<p>看護職員の就業者数は、看護師が22,504人、准看護師8,880人、保健師941人、助産師626人であり、看護師は増加し准看護師は減少、保健師、助産師は横ばい状態。年齢構成は、50歳以上が35.5%、30歳未満は14.3%と高齢化が進行している。</p> <p>また、看護師等養成所の入学者も若年人口が減少する中、受験者数の減少により入学定員に対して89.6%で定員割れの養成所が多い。</p> <p>新卒者の県内就業率は、高校の5年一貫校を除くと69.3%と改善してきている。（5年一貫校を加えた総数では55.1%）しかし、2025年の県全体での需要数31,131人に対して、2,346人の不足との推計が出されており、不足の状態である。</p> <p>加えて、常勤職員全体の離職率は2017年度が11.2%、2018年度及び2019年度が11.9%と増加傾向にあった。</p> <p>なお、日本看護協会が2018年度に病院診療所を対象とした調査では、全国の離職率は10.7%で、今回の県実施の実態調査による離職率の方が1.2ポイント高かった。</p> <p>（令和3年度看護師等養成所教務主任等会議資料より）</p>	<p>採用する施設等々の意見として、新卒者確保で効果があった取組としては、「奨学金制度（修学資金制度）」、「看護実習生の受け入れ」、「看護学校等養成機関への訪問活動」が上位となっている。</p> <p>県のくらし保健福祉部医師・看護人材課により看護職員確保対策として、①看護の魅力発信、②次代を担う看護人材の養成、③職場定着・離職防止の推進、④就業促進・再就業支援、⑤看護の質の向上が実施されており、看護師等養成所としては、高校生等へ養成所への入学の働きかけや、質の高い看護人材の養成、卒後の県内就業・定着の誘導を行うなどが求められている。</p> <p>また、就業する医療機関等に対しても、看護学生実習の積極的な受け入れや、働き続けられる職場環境の整備のほか、専門性や能力に対する適正評価などが求められていると考える。</p> <p>今後の課題としては、新卒者の県内就業率を60%に達するように努力する。また、県内の医療機関等からの奨学金制度を活用できるように、各養成所へ働きかけるなどがある。</p>

委員意見

一般社団法人鹿児島市保育園協会 副理事長（外園 紗都子）

現状	意見, 課題等
<p>①保育士不足により、認可定員まで受け入れることのできない園がある。 ⇒利用定員（新たな枠）を設け、保育士の処遇に影響が出ないようにしている現状。</p> <p>②全国的に保育士が不足していることにより、県外の株式会社を含む法人の採用活動が盛んである。株式会社等はPRに慣れている。</p> <p>③保育士という仕事の魅力が伝わり切れていない。マイナスイメージの先行。 ⇒令和元年より、保育士の魅力発信イベントを開催（第1回の会場は天文館アーケード。第2, 3回は鹿児島中央駅アミュ広場）。 令和3年度より、就職応援フェアを開催（第1回（7月）はLikaホールにて。第2回（3月）は城山ホテル鹿児島にて）</p>	<p>①鹿児島市内における企業主導型保育所の乱立によるものが一つの大きな要因と考えている。地域ごとの待機児童数を把握している鹿児島市と企業主導型保育所の開所について権限を持つ鹿児島県との連携について、伺いたい。 園庭や厨房、専門職員の勤務する認可保育園に一人でも多く保育士が勤務することによって、効率的に待機児童解消に 대응することができる。</p> <p>②保育士等の処遇改善が全国的に進む中で、各自治体独自の処遇改善を図っている。 鹿児島県、市においても引き続き、処遇改善に努めていただきたい。（鹿児島市：奨学金返済を行う学生への手当支給（今年度より）住宅手当の補助。） 各園についても、求職者が魅力を感じられるよう、PRの方法を学んだり、働きやすい環境作り等に努めたりしなければならない。</p> <p>③中高生への働きかけが十分にできていない。 鹿児島県教委、市教委の先生方にご協力をお願いしたい。 各校への保育士の魅力を伝えるための出張PR等、積極的にお引き受けしたいと考えている。</p>

セイカ食品株式会社 代表取締役社長（玉川 浩一郎）

現状	意見, 課題等
<p>高校生の採用について弊社で取り組んでいる事。 （セイカ食品）</p> <p>1. 進路指導担当の先生とできるだけコミュニケーションを図り、弊社の現状を理解してもらうよう努めています。</p> <p>2. 高校生の進路については、保護者の意向が強く働くケースも散見されますので、高校生向けの企業ガイダンスなどに積極的に参加し、保護者にも会社の現状を説明するよう努めています。 （ガイダンスに参加される保護者も結構いらっしゃいます。）</p>	<p>特になし</p>